



昭和小だより

No. 8

文京区立昭和小学校

令和元年 11月30日

校長 杉本 謙

昭和小学校で学ぶこと

校長 杉本 謙

11月15、16日に学習発表会(音楽)が開催されました。昭和の子たちが笑顔の花を咲かせ、活躍した様子を多くの方々にご覧いただきました。ご協力いただいた保護者アンケートの中に、子供たちや教員への励ましの言葉がたくさんありました。一枚一枚読む中で、これからの教育活動へのエネルギーを与えられました。感謝いたします。

さて、先日、ある児童から「何のために学校に通うのですか。」と聞かれました。「自分をよりよくするため」「将来の夢を実現させるため」などいろいろと頭によぎりましたが、昭和小学校の教育の原点である教育目標を通して話をしました。

人間尊重の精神を基調とし、社会の変化に主体的に対応し、心豊かでたくましく生きる昭和の子を育成する。

- ・自ら進んで学び、よく考える子
- ・自然や人を愛し、共に生きる子
- ・責任をもって、根気強くやり抜く子
- ・運動に親しみ、丈夫な体をつくる子

変化の激しいこの時代において、目の前にいる児童が20年後、30年後に活躍するには、何が必要かを考えさせられます。

教育目標という点、教室にも掲示してある後半の4つの項目に注目しがちですが、その前に「人を尊重すること」「社会の変化に主体的に対応すること」「心が豊かであること」「たくましく生きること」を育成するとあります。その中で基調(土台)となるのは、「人を尊重すること」です。つまり、人を大切にするという思いを育成することを土台に据えて、その他の力を育成するのです。

今回の学習発表会では、自分の力を出しつつ、友達と協力することを一人一人の児童が学びました。自分を優先していたら、まとまりのある合唱や合奏はできません。人を大切にすることができたからこそ、花を咲かせることができたのです。11月28日に、5年生が区の連合音楽会に参加し、大輪の花を咲かせました。昭和の子には、力があります。これからもその力を最大限に引き出せるように教職員一同努力したいと思います。

～教室の窓から～

4学年主任 担任 川田 則之

「音楽に魔法をかけよう さあ手をつないで 大切に織り上げた MUSIC きっと届くから…」先日行われた学習発表会で、4年生が歌った合唱曲「MUSIC」の歌詞の一部です。

一つの物事を達成するには、地道な努力と根気がいります。子供たちなりに演奏者としての責任を感じているからか、いつにも増して熱心に、譜読みの作業や合奏の練習を進めていました。楽器の運指の確認や呼吸を合わせる練習など、前向きに課題に向き合える期間は3週間、みんなで楽しみながら少しずつ少しずつ、上達への道を歩んでいきました。

成功までの道のりを互いに助け合いながら、それこそ手を繋ぐように練習を積み重ねました。その態度には、学年を超えた素晴らしさがありました。そして、大切に織り上げ紡ぎ出していった本番は、一体感という素敵な臨場感も加わって、感動的な空間へと仕上がりました。非言語能力の力、彼らの人生に魔法をかけ得る、見えざる大きな力になることを信じたいです。

子供たちからはこのような感想が生まれました。「みんなの心を一つにすれば、成功することが分かりました。」「今までの努力が積み重なって成功しました。」「学習発表会で学んだことを生かして、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。」

温かい声援、称賛・労いの拍手に包まれ、会場が一体になれたあの体験、そして「あの感覚」。自分たちに自信を深め、これからも頑張れ4年生！